

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名

てらびあぼけっとと越谷大袋教室

公表日

2026年

1月

20日

利用児童数

52名

回収数

41名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	0	0	0	広々としており、玩具だけでなく室内遊具もある。	今後も安全面を考慮した上で活動に十分なスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	0	0	1	マンツーマンで良い。	お子様と丁寧に関わり、豊かな支援を行えるよう職員配置を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	38	2	0	1	マーク等があり、どこで何をするのかわかりやすくなっている。エレベーターがある。 夏は室内が暑く熱中症が心配。もう少し涼しくして欲しい。	状況に応じて環境を整えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	0	0	0	清潔な環境で安心感がある。 常にきれいにされている。	引き続き掃除や消毒等を行い、心地よく活動できる空間づくりを行っていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	0	0	1	長所短所を理解して支援している。	今後も理解を深め、お子様に適した支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	40	0	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	0	0	0	何が苦手なのかよく分析して支援をしている。 話を詳しく聞き、分析して作られている。	お子様とご家族の理解と分析を丁寧に行い、適切な計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	0	0	0	その日の機嫌やノートに書いた家庭での様子を考慮してメニューの難易度を変えている。	今後もお子様に適した内容設定をしています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	0	0	0	バリエーション豊かな支援を受けられていると感じる。	お子様の様子を踏まえて様々な経験ができるようプログラムを展開していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	15	2	7	17		
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	0	0	0	非常に丁寧な説明だった。	今後も引き続き丁寧な説明をしていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	3	4	5	動画が育児をする上で大切なヒントになっている。	今後も動画や日々の対話を通してご家族にも支援を行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	40	1	0	0	互いに理解できていると思う。 支援の写真が非常に嬉しい。	引き続き丁寧な対話や写真等で、お子様の様子を共有していきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	0	0	0	不定期な相談にものってもらえるためありがたい。	相談の希望をいただいた場合、直ちに対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	16	18	兄弟がいなかったためわからない。 送迎時、他の保護者の方と話す機会があり、情報交換できる。 求めているため構わない。	保護者にニーズを確認し、必要に応じて適宜開催の検討を行います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	0	0	4	LINEでも対応してくれるためありがたい。 大変助かっている。	相談や申入れの内容に応じて、場を設ける等相談しやすい環境を整えていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	0	0	0	フィードバックをしっかりとっている。 アドバイスをもらっている。	支援や対話、面談の際に意思の疎通や情報伝達を行っていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	29	2	1	9	LINEを通じて発信されている。 活動の写真をもろえるため、支援の様子がよくわかる。	今後もブログやSNS等で情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	0	0	2		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1	0	11		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	1	20	定期的に行われているかは分らない。	引き続き定期的に訓練を実施し、内容や様子をブログ等で報告を行います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	0	0	4	少しの怪我でも丁寧に説明されている。しっかり説明してくれた。	今後も事故が発生しないよう対策を徹底していきます。万が一発生してしまった場合には、速やかかつ適切な対応を行っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	41	0	0	0	ニコニコしている。不信感を持っている様子はない。	今後も安心して利用できるよう、配慮していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	41	0	0	0	とても行きたがっている。いつも楽しみにしている様子。幼稚園より好きだと思う。	お子様が楽しみながら活動できるよう支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	1	0	0	成長を感じるため大変満足。ここまで成長できると思わなかった。親子間のイライラが減り、お互いに生活しやすくなった。内容や様子をしっかりと伝えてくれるため、安心して任せている。	今後もお子様が様々なことに興味を持ち、いきいきと活動できるよう努めていきます。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぼけっと越谷大袋教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	活動に適したスペースを確保できるよう、必要に応じた環境設定を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	安全に活動できるよう配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	名札やイラストでお子様が見覚的に分かるよう提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	各クール毎に清掃や消毒を行い、清潔な環境を保てるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	集中して遊ぶ、心を落ち着ける等必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	0	朝礼や終礼で、支援内容について共有したり話し合ったりしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	保護者様にも評価をお願いし、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	普段から意見を伝えあい、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	内部監査を行っています。	第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	様々な研修を通して資質向上を図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0	お子様の姿やニーズに応じてプログラムを行っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	保護者面談やお子様一人一人のアセスメントを通して、ニーズを分析し、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	職員間で成長したことや今後の課題点を共有し、共通理解のもと検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0	終礼等の中で内容を共有し、理解したうえで支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0	アセスメントシートの活用、日々の行動観察により、お子様の様子を確認しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0	お子様への具体的な支援内容・支援方法、家族支援等に関する内容を記しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	職員の専門性や経験を生かしてプログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	お子様が興味をもって楽しく取り組めるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別活動、集団活動における計画を作成し、計画に基づいた支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	朝礼等を通して支援内容や配慮事項等を共有し、支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	終礼の中で支援内容やお子様の様子等を振り返り、共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	行動記録にお子様の様子、支援内容、職員の対応等を記録して支援の検証や改善に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に1回モニタリングを行い、保護者様のお話を踏まえて児童発達支援計画の見直しをしています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	お子様の状況をよく理解している児童発達管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	お子様が利用している施設やサービスと連携した支援体制を整え、支援の向上を図っています。	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	ニーズに応じて相談に応じたり保育園等を訪問したりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	ニーズに応じて行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	必要に応じて助言等の機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	地域の施設と連携してイベントを開催する等しています。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	送迎時にお子様の様子や支援内容等を共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	プログラム等に関する動画、相談支援、モニタリング時の支援の観察を通して情報提供等を行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	見学や契約の際に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	お聞き取りシートや面談等で確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	作成後に児童発達支援計画を示しながら説明し、同意していただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	送迎時やセラピーノート等での相談に応じ、助言をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	10		ニーズを確認し、必要に応じて機会を設けるよう検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	相談や申し入れがあった場合、日程調整等速やかに対応できるよう体制を整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	ブログやSNSを活用し、活動の様子等を発信しています。	
非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	鍵付き書庫にて管理しています。配布物等は氏名の確認を丁寧に行っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0	お子様や保護者様と円滑に意思疎通や情報伝達ができるよう配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3	地域の施設とともにイベントを開催しています。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	入口の見やすい場所や事務室に防災マップを掲示し、訓練を行っています。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPを策定し、研修や訓練を行っています。訓練はお子様と一緒に、地震や火災を想定して行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	保護者様に確認をし、共有事項は個別ファイルに記録し、職員が確認するようにしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		食事の提供は行っていないが、必要に応じて医師の指示書に基づく対応を行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	安全計画を作成し、安全に活動できるよう管理を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	安全のために行っている取り組みを保護者様に共有しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハット報告書を作成し、情報共有や事例検討、研修を実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	虐待に関する研修や話し合いの機会を設け、複数の目で対応しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		身体拘束が必要なお子様がいないため説明は行っていないが、必要な場合は事前の説明を行います。

事業所における自己評価総括表			
公表			
○事業所名	てらびあぼけっと越谷大袋教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 41名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日 ～ 2025年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様が通所を楽しみにしている。	お子様が楽しく活動できるよう、支援を展開するようにしています。楽しく取り組むためにはどのような教材を使用するか、どのように声をかけるか等、職員同士で話し合いながら日々の支援を行っています。	何に楽しさや面白さを感じているのか、どのように支援を展開すると楽しい経験になるか等の視点を大切に、支援を行っています。
2	相談しやすい環境づくりをしている。	保護者様が気軽に職員に声をかけ、相談できるような雰囲気づくりを行っています。また、セラピーノートでの相談や情報共有も行っています。相談があった場合には、相談内容等を考慮した上で話しやすい環境でお話を聞くようにしています。	日々の対話の中での相談にも丁寧に応じ、お子様の様子や情報を共有していきます。温かい雰囲気を作ることで、お困りごとや不安なこと等を相談しやすいよう環境を整えます。
3	お子様一人一人に合った支援を行うようにしている。	保護者様との日々の情報共有や面談時のお話等からお子様への理解を深めたくうえで、プログラムを構成したり展開したりしています。就学前のお子様には、就学に向けたプログラムや活動を行っています。	保護者様からのお話、お子様の様子を踏まえて、意欲的に取り組み達成感を味わえるようなプログラムを構成していきます。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等活動の様子が伝わっていない。	避難訓練の様子をセラピーノートやブログ、SNSでお伝えしているが、SNSを活用していなかったり利用日と重ならず伝わっていなかったりするのではないかと考えています。	引き続きセラピーノートや口頭での取り組み内容を共有を行います。SNSの活用方法を見直し、情報が伝わるようにしていきます。
2	地域のお子様との交流が少ない。	地域の施設と連携し交流の機会を設けていますが、双方の活動時間等を考慮した開催になるため、多く開催することは難しいです。事業所内では小集団の活動を通してお子様同士が関わられるよう配慮しています。	引き続き地域の施設や卒業生との交流の場を検討していきます。
3	保護者会や保護者様同士の交流の機会が少ない。	1日を通してお子様をお預かりしているため、保護者会等の時間を設けることが難しいです。一方で同じ時間を利用する保護者様同士で会話をしている様子も見受けられています。	ニーズを確認し、保護者会の開催や交流の機会を検討していきます。